

平成 27 年度県立図書館事業実績

1 図書館資料の整備・充実（資料保存センター機能）

- 収集方針: 県内図書館との相互協力関係を通じて、図書館の図書館としての機能を発揮するために市町図書館との役割分担を行うとともに、調査相談センターとしての機能を果たすために各分野の学術書や専門図書を中心に収集する。
また、兵庫県関係の郷土・行政資料については、網羅的に収集する。
- 選定方法: 収集方針に基づき毎週選書委員による選書会議等において購入図書を選定する。

(1) 蔵書等の状況

① 受入別 図書はH28年3月末現在で、昨年度末より19,228冊の増となっている。

区分	分類	図書 (冊)	マイクロフィルム		CD-ROM (枚)	視 聴 覚 資 料								地形図等 (枚)
			ロール (巻)	フィッシュ (枚)		映画フィルム (巻)	スライド (巻)	レコード (枚)	録音テープ (巻)	コンパクト ディスク (枚)	ビデオ テープ (巻)	ビデオ ディスク (枚)	DVD (枚)	
H 26 年 度 末	購 入	345,498	7,990	1,084	196	28	2	2,317	9	396	1,475	1,687	10	7,015
	受 贈	249,071			649	1		58	300	248	1,095	12	2	3,717
	その他	24,869				232	1		23		250		9	6
	計	619,438	7,990	1,084	845	261	3	2,375	332	644	2,820	1,699	21	10,738
H 27 年 度 末	購 入	349,778	8,098	1,084	196	28	2	2,317	9	396	1,475	1,687	10	7,032
	受 贈	264,004			684	1		58	300	262	1,095	12	6	3,718
	その他	24,884				232	1		23		250		9	6
	計	638,666	8,098	1,084	880	261	3	2,375	332	658	2,820	1,699	25	10,756

② 類別 H27年度の増加数19,228冊のうち、3,663冊が郷土・地方行政資料である。(約19.1%)

(単位: 冊、(%))

区分	蔵書数	左 の 類 別 内 訳										
		総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
H 26 年 度 末	図書	619,438	45,232 (7.3)	28,259 (4.6)	83,109 (13.4)	174,694 (28.2)	44,221 (7.1)	55,582 (9.0)	46,080 (7.4)	53,128 (8.6)	11,786 (1.9)	77,347 (12.5)
	上記のうち 郷土・地方行政資料	97,915	2,998	1,276	16,946	36,728	4,329	5,785	7,600	9,020	257	12,976
H 27 年 度 末	図書	638,666	46,081 (7.2)	28,866 (4.5)	85,908 (13.5)	178,757 (28.0)	45,276 (7.1)	57,391 (9.0)	46,884 (7.3)	57,028 (8.9)	12,180 (1.9)	80,295 (12.6)
	上記のうち 郷土・地方行政資料	101,578	3,110	1,344	17,487	37,941	4,472	6,112	7,833	9,572	315	13,392

(2) 兵庫県関連索引等データベースの整備、充実

① データベースの整備

兵庫県に関連した各種のデータベースを作成し、ホームページ上で公開している。

- ・フェニックス・ライブラリー震災関連雑誌記事索引 (約5, 500件)
阪神・淡路大震災関連の雑誌記事の検索
- ・郷土雑誌記事索引 (約22, 200件)
兵庫県内の歴史・地誌を扱った雑誌記事の検索
- ・兵庫県内図書館関連記事見出し検索 (約4, 600件)
兵庫県内の図書館等に関する新聞記事の見出し検索
- ・兵庫ゆかりの人物文献索引 (約3, 700件)
兵庫県にゆかりがある人物や参考文献の検索
- ・阪神・淡路大震災関連資料横断検索 (約2, 600件)
神戸大学附属図書館震災文庫及び阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターを含めた3館の横断検索
- ・フェニックス・ライブラリー震災資料検索 (352件) (平成26年3月開始)

② 資料デジタル化の推進

兵庫県の歴史、地誌など郷土の事情に関する雑誌を中心に、保存状態の悪いものを優先してデジタル化をしている。

- ・県内の郷土研究雑誌 156タイトル (平成22年度)
- ・県内の教育関係雑誌 76タイトル (平成23年度)
- ・図書資料 233冊 (平成23・25年度)
- ・フェニックス・ライブラリー所蔵図書 825冊 (平成23・25年度)
- ・ビデオテープ 390本 (平成25年度)

(3) 兵庫県立図書館開館40周年寄贈キャンペーン

兵庫ゆかりの関連資料等の寄贈運動を行い、兵庫ゆかりの作家コーナーの設置などと併せて、ふるさとひょうごのことは何でもわかる「ふるさとひょうご何でも図書館」を展開

① 募集期間 平成26年4月1日～平成27年2月28日

② 目標冊数 1万冊

③ 実績 46,984冊 (658件)・・・H27.3.31現在

[処理状況：処理済数 29,859冊 (63.6%)・・・H28.3.31現在]

【主な寄贈者】

ひょうごゆかりの作家	大口寄贈者
・黒岩重吾 375冊・陳舜臣 100冊・中谷勝 16冊	・間島一雄書店 3,000冊 (郷土資料)
・高嶋哲夫 13冊・玉岡かおる 10冊	・木村重信 1,899冊 (図録)
・尾崎美紀 23冊・永田萌 27冊・阿久悠 18冊	・岩槻邦男 1,347冊 (著書、資料)
・水木しげる 8冊・河合雅雄 102冊	・神戸新聞総合出版センター
・尼子騒兵衛 42冊・たなかしん 8冊	591冊 (郷土資料)
・たかいよしかず 20冊・わたせせいぞう 38冊	・新谷英子 416冊 (図録)
・小泉凡 31冊	

(備考) 兵庫県ゆかり資料 約41% 専門書 約31% 雑誌 約14%

2 資料・情報の迅速・的確な提供（調査相談センター機能）

(1) 館内利用者数

(人)

室	大閲覧室	ふるさとひょうご情報室	新聞資料室	音楽資料室 ビデオライブラリー室	計
H27年度末	136,112	28,690	34,148	313	199,263
H26年度末	122,363	25,414	29,366	251	177,394

(2) 貸出冊数等

① 地区別新規登録人数

(人)

地区	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
H27年度末	854	81	52	960	64	114	29	8	9	22	12	2,205
H26年度末	796	68	60	948	54	74	22	5	8	20	6	2,061

② 地区別貸出冊数

(冊)

地区	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
H27年度末	22,503	531	1,045	27,912	1,289	1,878	612	168	94	415	65	56,512
H26年度末	22,725	661	1,164	26,725	1,356	1,650	535	274	133	326	66	55,615

③ 分類別貸出冊数

(冊)

分類	総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工学	産業	芸術	語学	文学	その他	計
H27年度末	4,730	3,781	9,154	11,460	6,220	5,058	2,133	5,599	1,231	6,950	196	56,512
H26年度末	4,955	4,295	8,663	10,911	5,817	5,448	2,092	5,074	1,426	6,793	141	55,615

(3) レファレンス

(件)

種 類	内 容	H27年度末	H26年度末
所在調査	特定資料の所蔵の有無、所蔵機関の調査	5,987	6,183
書誌的事項調査	書名、著者名、出版社、出版年等の調査	1,702	1,789
文献調査	一定の主題についての文献調査	6,213	8,334
事実調査	特定の事柄に関する事実についての調査	1,455	2,562
その他	上記以外のもので類縁機関の紹介等	3,102	3,911
計		18,459	22,779

【主な事例】

種 類	事 例
所在調査	Q：ヴァレリー著「テスト氏の一夜」の所蔵およびそれについての小林秀雄の書評 A：「ヴァレリー全集2」（958/11/2）で「テスト氏の一夜」を確認、また「小林秀雄全集 第三巻」（918.68/474/3）に「テスト氏の譯に就いて」の記述がある。
書誌的事項調査	Q：マルティン・ブーバーが書いた「バールシーム聖譚」について A：「ブーバーを学ぶ人のために」（199/52）の“ブーバーの文学的著作と翻訳”により『バールシーム伝』（Legende des Baalschem, 1908）と判明し、原書名でNDL（国立国会図書館）サーチ、CiNii Books（大学図書館の蔵書検索）で検索、「ブーバー著作集3」（199/1/3）に、“スピノザ、サッパタイ、ゼヴィとバール・シーム”の記述があることがわかり、本館所蔵図書を紹介した。
文献調査	Q：大正14年日本絹業博覧会の音楽堂について A：「日本絹業博覧会事務報告」（586.4/28）に音楽堂を含む第二会場の写真と絵がある。「神戸市史第2輯本編」（216.41/6/2-1）に、大正13年4月に篤志家の寄付によって音楽堂が開設された旨の記述がある。また、「神戸新開地物語」（216.41/16）では、昭和8年にみなと音頭が流行し、「十月十六日から二十一日までの六日間、湊川公園音楽堂でおどりの講習会が行われた」と記述がある。

文献調査	<p>Q：「皇朝靖献遺言」の著者 横尾謙七について</p> <p>A：「人物レファレンス事典」(281.64/1)により、横尾謙七〔別名〕福原謙七 江戸時代末期・明治時代の播磨山崎藩士と判明。「現代兵庫県人物史」(281.64/11)、「兵庫県郷土人物誌 第1輯」(281.64/44)、「山崎町史」(216.44/57)などに簡単な略歴や肖像が載っている。</p>
事実調査	<p>Q：加古川市野口町にある公設市場が、現在地に移転する前どこにあったか。</p> <p>A：「加古川・高砂の昭和」(216.43/K184)で、市立総合卸売市場の開設として、昭和34年3月30日開設、現在の関西電力と旧近畿電気の場所 加古川市加古川町北在家と解説があり、「国土基本図」(C1/5)で該当場所に表示を確認した。</p>
	<p>Q：「円山川文学散歩」の中で引用されている永井路子の文章の出典</p> <p>A：「但馬文学誌 後編」(918.6/19/2)により、「旅情 第5〈町〉」主婦と生活社(1969)の中の「川とプラタナスの町」と判明</p>
	<p>Q：明治30年の貨幣価値について</p> <p>A：「値段史年表」(337.8/39) 「物価の文化史事典」(337.8/73) 「物価の世相100年」(337.8/27)により、明治30年頃と現在の白米の小売価格を比較</p>

(4) ホームページアクセス数及び蔵書検索数

(件)

	ホームページアクセス数	蔵書検索数
H27年度末	204,576	3,117,762
H26年度末	212,960	3,018,882

(5) 読書講演会・講座等の実施

読書活動を振興するための講演会開催をはじめ、地域の情報拠点の役割を担う図書館として、所蔵資料や資料に関する情報を的確に分かりやすく県民に伝えるとともに、地域の課題解決に役立つことをめざして各種の講座等を実施する。

① 読書講演会

県民が本や文字・活字に親しみ、読書意欲を高めることをめざして、時機に適したテーマ・講師を設定し開催する。

開催日：11月29日 テーマ：「リズムでよもう詩と絵本」講師：尾崎美紀氏

3月5日 テーマ：「本・モノのある風景～本モノ体験で風景かわる～」

講師：中瀬勲氏

② 図書館利活用講座

当館所蔵資料やその活用方法の例示などの情報を発信することにより、県民の学習意欲を高め、県立図書館が県民により身近な存在となることをめざす。

ア 図書館入門講座

県立図書館利用初心者を対象に、所蔵資料や情報の検索の方法などの便利な使い方などを順次紹介することにより、県立図書館をさらに有効活用していただくことをめざす。

テーマ	参加人数	期 日	内 容
県立図書館入門	6人	27. 5. 16	本を借りる・返す・予約するなど県立図書館の使い方を案内する。 講師：井上
国立国会図書館デジタルコレクションを見てみよう	8人	27. 6. 17	国立国会図書館が公開しているデジタルコレクションを紹介する。 講師：植田
法情報を調べてみよう	10人	27. 7. 18	兵庫県立図書館で使えるデータベース「D1-Law」を使った法律や判例情報の調べ方を案内する。 講師：第一法規
ふるさとひょうごのデータベースを使ってみよう	12人	27. 9. 19	兵庫県立図書館が作成した ふるさとがわかるデータベースの使い方を案内する。 講師：弭間
国立国会図書館「れきおん」を体験してみよう	7人	27. 11. 21	国立国会図書館が公開する「歴史的音源」を案内する。 講師：福永

法情報を調べてみよう	6人	27. 12. 16	兵庫県立図書館で使えるデータベース「D1-Law」を使った法律や判例情報の調べ方を案内する。 講師：第一法規
「聞蔵Ⅱビジュアル」を使ってみよう	8人	28. 2. 17	オンラインデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」の使い方を案内する 講師：荒川
本のしくみを知ろう	4人	28. 3. 19	和綴じ本の作成を通じて本の仕組みを知る 講師：吉井

③ 出前講座

図書および図書館の業務等について県内各地で実施される研修会・学習会等に当館職員を講師として派遣する。(申込みに応じて随時実施)

テーマ	参加人数	期 日	内 容
県立図書館入門	22人	27. 5. 10	県立図書館の取組みの紹介 講師：川東
図書館の上手な使い方	50人	27. 5. 28	いなみ野学園大学院講座において、県立図書館の使い方や取組みを紹介 講師：荒川
本の修理	16人	27. 8. 18	新温泉町立加藤文太郎記念図書館で、本のつくり及び修理の基本について実技もまじえて学ぶ。 講師：荒川
読書会	10人	27. 8. 22	村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』について 講師：溝口
こどもあかし楽講座「こどもれきしウォーク～本で武蔵の謎をとけ！～」	15人	27. 9. 23	明石市生涯学習センターにおいて、宮本武蔵に関する講義の後、武蔵の設計した町割り等を散策し、明石の歴史や明石と武蔵のつながりについて学ぶ。 講師：宮本（ひょうご図書館研究員）
本の修理	22人	27. 9. 30	洲本市立洲本図書館で、本のつくり及び修理の基本について実技もまじえて学ぶ。 講師：橋立
図書館の紹介と見学	90人	27. 10. 9	いなみの学園生徒が図書館の利用の仕方について学ぶ。 講師：井上、西
図書館の利用法及び普及啓発活動について	57人	27. 10. 23	学校事務職新任研修第3回基礎研修として、図書館の新しい取組みの紹介と利用案内について 講師：川東、谷
著作権ってどんなこと！	15人	27. 10. 23	著作権の概要について説明 講師：谷口
郷土について調べる	31人	27. 11. 4	郷土についての資料の紹介や、調べかたを説明 講師：前川
読書の楽しみを伝えましょう！-ビブリオバトルを体験してみよう-	11人	27. 11. 13	ビブリオバトルの紹介や実際の進め方を説明 講師：谷口
講談実演と図書館の新しい取り組み	95人	27. 11. 19	いなみ野学園ラジオカレッジで大型方言講談絵本による講談の実演と図書館の新しい取組みを紹介 講師：川東
本の仕組みを知り、和綴じ絵本を作る事前学習	1人	27. 12. 3	和綴じ絵本を作る講座の補助のための事前学習 講師：吉井
本の仕組みを知り、和綴じ絵本を作る	12人	27. 12. 13	本の仕組みの解説と和綴じ絵本を作る。 講師：吉井、田中

④ 学校サポート講座

テーマ	参加人数	期 日	対 象	内 容
読書の楽しみ	127人	27. 4. 23	県立津名高等学校	新入生を対象に、読書のおもしろさや選書のヒントを学ぶ。 講師：定本
	86人	27. 4. 24		
探究入門	43人	27. 4. 27	県立東播磨高等学校	総合的な学習の時間で探求学習をするにあたって図書やインターネットを利用した情報の集め方や整理の方法を学ぶ。 講師：井上
「播磨国風土記」について知る	50人	27. 5. 22	県立明石西高等学校	文化祭での展示の事前研修として、大型方言講談絵本「カンベッコヨナイの時空風土記」で播磨国風土記について興味を持ち、探究する意欲を培う。 講師：川東、前川
情報収集と著作権	73人	27. 6. 11	県立有馬高等学校	課題研究をするにあたって図書やインターネットを利用した情報の集め方や整理の方法を学ぶ。 講師：植田
「播磨国風土記」について（文化祭の支援）	60人	27. 6. 18	県立明石西高等学校	図書部生徒による播磨国風土記についてのテーマ展示を支援するため大型方言講談絵本「カンベッコヨナイの時空風土記」による講談や、占いの実演を行う。 講師：川東、吉田、定本、前川
読書講演会	462人	27. 6. 24	神戸山手女子高等学校	全校生を対象に読書のおもしろさや楽しさを学ぶ。 講師：塩田
本の修理	21人	27. 7. 7	播磨東地区学校図書館司書部会	教職員を対象に本のつくり及び修理の基本について実技もまじえて学ぶ。 講師：橋立
論文作成のための情報収集と整理法	260人	27. 7. 14	県立須磨友が丘高等学校	2年生の生徒を対象に論文を作成するにあたり、テーマに沿った情報収集・検索のしかたを紹介 講師：豊浦
本の装丁の仕方	1人	27. 7. 24	神戸弘陵高等学校	教職員を対象に本の装備の基本について実技もまじえて学ぶ。 講師：義則
論文作成のためのテーマ設定	240人	27. 9. 30	県立神戸甲北高等学校	2年生の生徒を対象に論文を作成するにあたり、テーマの設定方法についての理解を深める。 講師：植田
県立図書館の働きを知る（校外学習）	12人	27. 10. 22	県立西宮今津高等学校	総合的な学習の一環で県立図書館の働きと、そこで働く人について学ぶ。 講師：吉田、西
県立図書館の新しい取り組みについて	119人	27. 10. 29	播磨西地区学校図書館協議会	講談の実演と県立図書館の新しい取り組みの紹介や学校図書館との連携について 講師：川東
論文作成のための情報収集のしかた	120人	27. 11. 25	県立神戸甲北高等学校	論文を作成するにあたり、情報の検索や収集方法について学ぶ。 講師：植田
図書館探検	14人	27. 11. 26	明石小学校2年生	県立図書館の案内と紹介 明石小学校2年生児童からのインタビュー 講師：谷口
論文作成のための情報収集のしかた	120人	27. 12. 2	県立神戸甲北高等学校	論文を作成するにあたり、情報の検索や収集方法について学ぶ。 講師：植田

学校図書館運営における著作権等について	10人	27. 12. 8	県立有馬高等学校	学校図書館の運営についての知識や、著作権について 講師：谷口
総合学科における学習を支援するための図書館システムの有効活用	31人	27. 12. 9	総合学科設置校教頭及び総合学科推進部長	生徒自らが、情報収集する能力を高めるための方策について 講師：豊浦

(6) 子ども読書活動推進事業

① 関連講座

子どもの読書活動を推進する県民等を対象に講座・講演会を開催し、情報発信するとともに、読書ボランティアの指導者養成を行う。

事業名	参加人数	期 日	内 容
こどもの読書週間イベント「外国の絵本 日本語訳の絵本」	—	27. 4. 17～ 27. 5. 20	「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)にちなんだ絵本展示を開催
えほん de ピクニック	545人	27. 4. 25 27. 4. 26 28. 1. 6 28. 3. 20	たくさんの絵本に囲まれた中で自由に絵本との出会いを楽しむ空間をつくり、読書の楽しみの普及を図る。
子ども読書スキルアップ講座	36人	28. 2. 12	講演「読書生活の充実をめざした学校図書館の取組」 講師：豊岡市立豊岡小学校長 嶋公治
自由研究大応援	小・中学生を対象に、県下他機関と連携して、当館所蔵資料をはじめ、各分野の専門家の話や標本などの現物展示をとおして、調べることを学び、自由研究を楽しく応援する講座を開く。		
	100人	27. 7. 21	○Mr. コダテの「葉っぱの宇宙」探偵団 明石公園で葉っぱを探して、いきものマップを作成する。 講師：県立人と自然の博物館研究員 小館誓治 川東、尾崎、谷、定本、福永、中井、塩田、石原
	103人	27. 8. 4	○カメムシ博士の「虫むし宇宙」探偵団 明石公園で昆虫を探して、いきものマップを作成する。 講師：伊丹市昆虫館学芸研究員 長島聖大 川東、尾崎、谷、定本、福永、植田、塩田、石原
	76人	27. 8. 11	○ちんげんさいの「紙ねんど宇宙人」探偵団 大型方言講談絵本のお話を聞いて、自分だけの紙ねんど宇宙人を作成する。 講師：川東丈純、藤本明子(ひょうご図書館研究員)、 定本隆志 尾崎、谷、福永、植田、塩田、石原
	73人	27. 8. 28	○ちんげんさいの「紙ねんど宇宙人」探偵団 大型方言講談絵本のお話を聞いて、自分だけの紙ねんど宇宙人を作成する。 講師：川東丈純、定本隆志 福永、塩田、吉田、インターンシップ高校生
	73人	27. 10. 18	○いろいろな線と色で遊ぼう 親子で抽象画を描くワークショップ 講師：臨床美術士(フェリシモ) 川東、定本、福永、田中
	77人	27. 12. 5	○大木雅之助とちんげんさいのグリム童話な時間～お話を聞いて絵をかこう～ 大木雅之助さんのお話とグリム童話の絵本の朗読を聞いて参加者がイメージした絵を描くワークショップ 講師：大木雅之助、川東丈純、藤本明子 谷、定本、前川、福永、田中、溝口
	51人	27. 12. 23	○まる・さんかく・しかく 祖父母と孫が抽象画を描くワークショップ 講師：臨床美術士(フェリシモ) 川東、定本、前川、福永、溝口

② ひょうご子ども読書活動推進フォーラム

(文部科学省 平成27年度子供の読書活動の推進「読書コミュニティ拠点形成支援」委託事業)

あらゆる子ども読書活動の基盤となる公立図書館と学校図書館の連携取組を強化し、県内の子ども読書活動を活性化し、地域での持続可能な体制を構築するため、「公立図書館と学校との連携強化」を柱にした地域全体の読書活動の強化に向けたフォーラムを実施し、子ども読書活動の取組をさらに継続、発展させていくことをめざす。

事業名	播磨東地区フォーラム（地区テーマ：宇宙）					
日時	27. 8. 26 12:45～16:30			場所	県立図書館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合計	図書館・教職員
	18人	44人	2人	66人	130人	48%
講演	タイトル：「宇宙と本」 講師：兵庫県立大学自然・環境科学研究所天文科学センター 西はりまセンター長 伊藤洋一教授 伊藤教授が天文学者を目指す契機となった幼少期に読んだ絵本「星座をみつけよう」の他、「星の王子様」、「COSMOS」、ご自身の英文論文等を紹介しながら、思い出に残る本との出会いについて語られた。					
大型方言講談 絵本実演	演題：「宇宙探偵ホシノ・カケラン～タコアナ号宇宙の旅～」 出演者：県立図書館ビブリオ堂ちんげんさい×サンダリン×オショールン 県立図書館が夏休みの特別展示「宇宙本モノ大作戦！」のメニューで、第30回ISTS兵庫・神戸大会とのコラボで制作し、宇宙博、明石市立天文科学館、明石市立文化博物館を巡回した大型絵本を使ったワークショップの一部を図書館の活動モデルとして紹介した。					
ブックトーク	「わたしのつくった宇宙絵本」というテーマで地域の小学生によるブックトークを実施した。 ※明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、明石市立図書館、県立図書館との連携事業「宇宙絵本づくりワークショップ」で作成した絵本を小学生2名が紹介した。					
トークセッション	参加者：伊藤洋一（西はりま天文台センター長：観測天文学） 井上 毅（明石市立天文科学館学芸係長） 志水千尋（明石市立図書館長） 木村典泰（明石市立松が丘小学校区コミュニティ・センター所長・前明石市立明石小学校長） 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長） 「子どもの読書活性化のためには」について委員等から出た意見（キーワード） ・子どもたちは退屈な時間が必要で、そこに読書を誘引すべき。 ・魅力ある図書館司書の存在、多様なニーズに応えられる司書が大切である。 ・子どもたちが興味を持ち、自発的かつ継続的に学びを続けていくために、学校図書館と地域の図書館をはじめ多様な機関とつながることで、様々な出会いや深い学びにつながるのではないかと。					
ビブリオバトル	2会場に分かれて実施。会場ごとにチャンプ本（2人）決定。（参加者：9人）					
事業名	播磨西地区フォーラム（地区テーマ：世界文化遺産姫路城）					
日時	27. 9. 12 12:45～16:30			場所	姫路市立城内図書館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合計	図書館・教職員
	14人	40人	5人	122人	181人	30%
講演	タイトル：「姫路城ものがたり」 講師：兵庫県立大学特任教授・播磨学研究所長 中元孝迪 「姫路城100ものがたり」など姫路城や播磨地域の歴史人物等について多くの著書がある講師から、宮本武蔵やその養子三木之助、姫路に嫁いだ千姫など、ゆかりの人々の人生を大きく転換させた舞台である姫路城にまつわる種々の話が紹介された。					
大型方言講談 絵本実演	演題：「カンベッチョナイものがたり」 出演者：県立図書館ビブリオ堂ちんげんさい×サンダリン×オショールン 特別展示「兵庫ゆかりの武将：黒田官兵衛」のメニューで県立歴史博物館、県立考古博物館、県立こどもの館等を巡回した官兵衛と播州弁「べっちょない」（大丈夫）の意の合体キャラクターが活躍する物語のワークショップの一部をモデルとして紹介した。					

トークセッション	<p>参加者：中元孝迪（兵庫県立大学特任教授・播磨学研究所所長） 尾崎美紀（児童文学作家・詩人） 高濱由香（姫路市立城内図書館係長） 松浦里和子（姫路市立城西小学校教諭） 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長）</p> <p>「子どもの読書活性化のためには」について委員等から出た意見（キーワード）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは大人が読書をする姿を見せる。 ・読書はしんどいもので、楽しいだけのものではない。 ・子どもたちには道草が必要である。 ・学校と図書館等の連携には人と人のつながりが大切である。 					
ビブリアバトル	3会場に分かれて実施。会場ごとにチャンプ本（3人）決定。（参加者：14人）					
事業名	但馬地区フォーラム（地区テーマ：生物多様性）					
日時	27.10. 3 12:45～16:30			場所	出石永楽館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合計	図書館・教職員
	30人	101人	17人	76人	224人	58%
朗読	<p>タイトル：絵本「みえとコウノトリ」より 朗読者：絵本作家 永田 萌 永田萌氏が絵を描き、県立コウノトリの郷公園の研究部長だった故池田啓氏が執筆した絵本「みえとコウノトリ」を朗読した。</p>					
対談	<p>タイトル：「子ども読書対談」 対談者：霊長類学者・児童文学作家 河合雅雄×永田 萌 河合氏は子ども時代、病気がちで小学校に半分も行けなかったが、体調のいい時は野山を駆け回り、病気の時は本をたくさん読んだ。自然体験と読書活動によって自分で考える力がつけられたからこそ科学者になれた。自然体験と読書とを繰り返すことがとても重要だとのメッセージが、永田氏からは、かつて冒険物語が好きだったという読書との関わりを語るなかで、読書という経験が知識の基であり、いろいろな世界へつながれることのすばらしさが語られた。</p>					
トークセッション	<p>参加者：垣谷敦美（兵庫県立豊岡総合高等学校長） 嶋 公治（豊岡市立豊岡小学校長） 藤原孝行（豊岡市立図書館長） 森 薫（NPO法人コウノトリ湿地ネット事務局長） 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長） コメンテーター：永田 萌</p> <p>「子どもの読書活性化のためには」について委員等から出た意見（キーワード）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は本とつながるチャンスをいくつ体験させていくのかが使命だと思う。 ・疑似体験の積み重ねが豊かな人間性を育む。 ・学校や図書館等との連携には、継続学習の可能性がある。 ・小学生の時期は「考える力」をつけることが大切である。 ・読書は本の主人公に感情移入して自分が主人公となって心の葛藤を経験する。その積み重ねが情緒豊かで感情豊かな人間を育てる。 ・道草をしている間に知らず知らずのうちに知識が蓄えられることが本の魅力だと思う。 					
ビブリアバトル	2会場に分かれて実施。会場ごとにチャンプ本（2人）決定。（参加者：11人）					
事業名	阪神・丹波地区フォーラム（地区テーマ：防災）					
日時	27.11. 8 12:45～16:30			場所	三田市立図書館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合計	図書館・教職員
	23人	49人	4人	57人	133人	54%
ワークショップ	<p>タイトル：「地震のしくみと断層ドミノ」 講師：兵庫県立人と自然の博物館主任研究員 加藤茂弘 兵庫県立図書館ビブリア堂ちんげんさい</p> <p>本モノの体験をすることを目的にしたワークショップ「断層ドミノ」を行った。マグニチュード9とはどれくらいのエネルギーなのかを感じるために、断層を表すドミノを参加者みんなで並べてドミノ倒しを行い、楽しみながら地震を学ぶきっかけとなった。</p>					

三味線朗読 講談実演	<p>演題：三味線朗読講談 小泉八雲「生き神」 出演者：兵庫県立図書館ビブリオ堂ちんげんさい、サンダリン、オショールン</p> <p>「図書館を活用した防災学習展」のメニューで明石市立天文科学館等を巡回したワークショップの一部をモデルとして紹介した。</p>					
トークセッション	<p>参加者：加藤茂弘（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員：地形学・自然地理学） 鹿田尚宏（兵庫県立三田祥雲館高等学校教諭） 森安修子（三田市立三輪小学校教諭） 前川千陽（三田市立図書館長） 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長）</p> <p>「子どもの読書活性化のためには」について委員等から出た意見（キーワード）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出て行く図書館、出かける図書館を目標にしてたくさんの人と触れあって本の楽しさを伝えたい。 ・ 本はコミュニケーションに使える道具のひとつ。 ・ 本を読むことが好きだから人は本を読む。少しでも本を読むこと、活字を通じて情報を仕入れてほしい。 ・ 本も物も、「ほんもの」をいかに提供できるかが重要。本は今の私たちの文化の根幹にかかわる大切なもの。 					
ビブリオバトル	2会場に分かれて実施。会場ごとにチャンプ本（2人）決定。（参加者：12人）					
事業名	神戸・淡路地区地区フォーラム（地区テーマ：食と農）					
日 時	27. 11. 22	12:45～16:30	場 所	洲本市立洲本図書館		
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合 計	図書館・教職員
	18人	40人	6人	24人	88人	66%
講 演	<p>タイトル：「いただきます」 講師：龍谷大学農学部教授 古本 強</p> <p>京都大学大学院時代、研究に行き詰まった時、大学図書館に入り浸る中で、著名研究者の思考の調査という図書館司書の助言によって、研究者としての道を見つめ直すきっかけになったとの話があり、本を通じた出会いが人生を変えた実例を紹介するものであった。</p>					
三味線朗読 講談実演	<p>演題：三味線朗読講談 阿久悠の作品から「瀬戸内少年野球団」 出演者：兵庫県立図書館ビブリオ堂ちんげんさい、サンダリン、オショールン</p> <p>宇宙や防災で実施した三味線朗読講談という新たな朗読手法で、淡路を代表とする作家阿久悠の作品で淡路の風土や食、そして農を紹介した。</p>					
トークセッション	<p>参加者：古本 強（龍谷大学農学部教授：植物生理学） 粟井光代（県立淡路高等学校長） 村上倫子（洲本市立洲本図書館職員） 沖田雅一（洲本市立洲本第一小学校長） 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長）</p> <p>「子どもの読書活性化のためには」について委員等から出た意見（キーワード）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本を薦めるにはコミュニケーションが大切である。 ・ 体験学習を通じて本物の見極めが大事。乱読することにより本物かどうかが分かるのではないか。 ・ 自ら学ぶという姿勢を培うことが、深い学びにつながる。 ・ ゆっくりとした時間を子どもと共有する。 ・ 大人も子どもも時代を大股で歩くことで見逃してきた事柄を、小股で歩き、落ち穂拾いをするようにして過去を振り返ることも大切である。 					
ビブリオバトル	2会場に分かれて実施。会場ごとにチャンプ本（2人）決定。（参加者：5人）					

事業名	ひょうご子ども読書活動推進フォーラム全県フォーラム（テーマ：子ども読書と地域資源）					
日 時	27. 12. 20 9:45～16:30			場 所 神戸市勤労会館		
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合 計	図書館・教職員
	50人	44人	17人	82人	193人	49%
講 演①	<p>タイトル：「地域資源としての小泉八雲」 講 師：島根県立大学短期大学部教授 小泉凡</p> <p>本との出会いや本モノ体験を柱に曾祖父小泉八雲研究や松江やギリシャ、アイルランド等ゆかりの地連携での地域資源や文化資源としての小泉八雲についての取組について紹介された。</p>					
講 演②	<p>タイトル：「いいもの本モノものがたり」 講 師：兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 岩槻邦男</p> <p>本との出会いや本モノ体験を柱に、丹波での少年期の原風景、そして植物学者を志した青年期、東京大学での研究、そして、小石川植物園や人と自然の博物館での取組について紹介された。</p>					
三味線朗読 講談実演	<p>演 題：「小泉八雲の『草ひばり』」 出演者：県立図書館ビブリオ堂ちんげんさい×サンダリン×オショーリン</p> <p>宇宙や防災の講座で実施した三味線朗読講談という新たな朗読手法の一環で実施</p>					
トークセッション	<p>○パネリスト 岩槻邦男（兵庫県立人と自然の博物館名誉館長・東京大学名誉教授） 小泉 凡（島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲曾孫） 藤本明子（兵庫県立三田祥雲館高校教諭）</p> <p>○コーディネーター 川東丈純（県立図書館総務課長兼企画・広報チーム長）</p> <p>「子どもの読書活性化のためには」について出演者から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県は地域によって多様な文化があり、子ども読書活動に関しても多様であることの普遍性が重要で、普遍的なシステムとしていく必要がある。 ・博学図協働の流れがみんなが学ぼうということにつながる。 ・濫読によって本に触れれば触れるほど自分が得をし、本物を見極めることができるようになる。 					
ビブリオバトル 準決勝	3会場に分かれて実施。会場ごとに決勝進出本（4人）決定。（参加者：16人）					
ビブリオバトル 決勝	1会場で開催。中・校生の部、社会人の部ごとにチャンプ本（各1人）決定。					

(7) 図書館地区別研修（近畿地区）

（文部科学省 平成27年度「図書館地区別研修」委託事業）

図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の規定に基づき実施するもので、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行い、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とする。

テーマ	参加人数	期 日	内 容
文部科学省行政説明「図書館行政の動向について」	41人	28. 1. 19	「学校図書館法」の改正や文部科学省の図書館行政の動向について解説 講師：文部科学省 高橋 陵子
基調講演「未来の図書館、はじめませんか？－『つながる図書館』を軸に考える－」	44人	28. 1. 19	「市民のための図書館」の今後のあり方について講演 講師：アカデミック・リソース・ガイド代表取締役 岡本 真
講義①－1「絵本のチカラと子ども読書①－わたしが子どもだった頃－」	50人	28. 1. 20	講師が、子ども時代の原体験から、絵本の持つチカラや本との出会いについて語る。 講師：絵本作家 永田 萌、絵本作家 たかい よしかず
講義①－2トークセッション「絵本のチカラと子ども読書②－本の楽しさと絵のチカラ－」		28. 1. 20	作家の視点から本の楽しさ、絵のチカラ、子ども時代の読書体験など本物との出会い体験の大切さについて語り合う。 パネリスト：永田 萌、たかい よしかず コーディネーター：県立図書館 川東 丈純
講義②〈演習付〉「入門・図書館サービス計画のつくりかた」	39人	28. 1. 20	図書館サービス計画の立案方法等について講義し、グループ単位で演習することにより理解を深める。 講師：愛知県田原市図書館長 豊田 高広
講義③「図書館ブランディング入門－味方を増やす地域戦略－」	79人	28. 1. 21	図書館と図書館員の社会的評価を向上させるための戦略について解説する。 講師：図書館サービス計画研究所 代表 仁上 幸治
講義④－1「図書館の連携・協力－つながる図書館、つなげる司書－」	97人	28. 1. 21	図書館の「連携・協力」について、取組事例などを確認 講師：慶應義塾大学文学部 教授 糸賀 雅児
講義④－2 報告1「『本、モノ、コト・ヒト』をキーワードにした事業展開について」		28. 1. 21	『本、モノ、コト・ヒト』をキーワードにミュージアムや企業等と連携した事業展開で、本やモノで子どもたちにさまざまな本への入口を提供する取組事例等を報告し、作家の「思考」を見せる展示や地域を越えた連携事業等を紹介し、新たな未来型図書館の可能性について提案 講師：県立図書館 川東 丈純
講義④－2 報告2：「東寺百合文書のこれまでとこれから」		28. 1. 21	「東寺百合文書WEB」公開の目的と今後の課題について 講師：京都府立総合資料館 岡本 隆明
講義④－2 報告3：「市民とつくる市民の図書館」		28. 1. 21	ボランティア団体との共催事業や市役所との連携事業等の事例を紹介し、市民とつくる図書館のあり方について報告 講師：鯖江市文化の館 館長補佐 竹内 邦子
講義④－3 パネルディスカッション「連携する図書館の今後の展開と可能性について」		28. 1. 21	図書館に求められているものを感じ取り、実現していく構想力・行動力や連携することで生じる成果を公益性の観点から今後の展開についてパネルディスカッションを実施 パネリスト：岡本 隆明、竹内 邦子、川東 丈純 コーディネーター：糸賀 雅児
講義⑤「障害者サービスに使える国立国会図書館のサービス」	31人	28. 1. 22	「障害者差別解消法」の施行を受けて、障害者サービスに使える国立国会図書館のサービスを紹介 講師：国立国会図書館関西館 係長 安藤 一博

(8) ビデオミニシアター

映画等の鑑賞を通じて県民文化の発展に資するとともに、所蔵資料の有効活用を図る。洋画・邦画の名作や記録映画などの上映と、上映作品に関連した図書を紹介し、図書の利用へと繋がることをもめざす。ボランティアが上映作品の選定等の運営に参画している。

27年度は、4月11日より原則として第2・第4土曜日に各2回上映、2時間を超える長編作品は各1回と翌日曜日にも各1回上映。年間約21作品を予定

上映作品：「大黄河 第5集第6集」（日本1986）、「岸恵子の大河ナイル6700キロ」（日本1989）など、ドキュメンタリー特集等として実施

(9) 資料企画展示および関連講座の実施

県民のふるさと意識を高め広くふるさとひょうごの情報を提供する知の拠点「ふるさとひょうご何でも図書館」、あらゆる機関と連携するネットワーク拠点「連携する図書館」、あらゆる世代を対象に行動する創造の拠点「行動する図書館」となることを目指し、テーマを設定して本・モノ・講座で展開する。

① ふるさとひょうご特別展示

ふるさとひょうごゆかりのテーマを設定して、当館所蔵の資料を中心に本、モノ、講座（ワークショップ等）を行い、広く県民にふるさとひょうごについて発信し、ふるさとひょうご意識を高める知の拠点を目指して事業展開する。

テーマ	展示場所	期 日	内 容
ふるさとひょうご何でも図書館展	大閲覧室 ふるさとひょうご情報室	27. 2. 20～ 7. 15	「開館40周年記念寄贈キャンペーン」を展開し、多数のふるさとひょうごに関連した資料の寄贈を受けたその成果を展示。黒岩重吾氏、玉岡かおる氏等文学者や岩槻邦男氏、河合雅雄氏等研究者の寄贈本コーナーやわたせせいぞう氏のイラストと寄贈本、絵はがき等を展示 ※人と自然の博物館と連携
宇宙本モノ大作戦！展	大閲覧室 1Fロビー	27. 7. 17～ 10. 14	第30回宇宙技術及び科学の国際シンポジウム兵庫・神戸大会が開催されるのを機に、はやぶさ2のイオンエンジンや、ペンシルロケットの模型、航空機の歴史のパネル等と大型宇宙絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン～タコアナ号宇宙の旅～」を制作し展示し、人と自然の博物館小館誓治研究員等による講座もあわせて開催 ※第30回ISTS兵庫・神戸大会地元事業実行委員会、明石工業高等専門学校、明石市立天文科学館、明石市立図書館、明石市立文化博物館、伊丹市昆虫館、NPO法人明石プラモデル甲子園プロジェクト、(株)IHIエアロスペース、オメガエンジニアリング、京都産業大学神山天文台、(株)海洋堂、(公財)兵庫県園芸・公園協会、JAXA、兵庫県立大学自然・環境科学研究所天文科学センター西はりま天文台、人と自然の博物館等と連携
アートショカン!!展	大閲覧室 ふるさとひょうご情報室 1Fロビー	27. 10. 16～ 28. 1. 20	尼子事務所との共催で朝日学生新聞社の協力を得て、「立原えりかのグリム童話原画展」を開催し、著名作家の絵本原画等26点を展示。関連講座として、「大木雅之助とちんげんさいのグリム童話な時間」と題して、絵本の朗読を聞き、参加者が想像して登場人物を描き、大閲覧室に展示。また、(株)フェリシモの協力を得て、抽象画を描くお絵かき講座「いろいろな線と色で遊ぼう」や「まる・さんかく・しかく」を行い、作品をロビーに展示し、アート作品と関連本でアートを体感していただく機会を提供した。 ※尼子事務所、朝日学生新聞社、(株)フェリシモと連携

生誕130年谷崎潤一郎展	大閲覧室	28. 1. 22～ 6. 5	2015年は谷崎潤一郎没後50年であり、2016年が生誕130年という節目の年にあたり、それに伴い、谷崎潤一郎の著作・研究書などの関連資料を中心に展示。また、芦屋市谷崎潤一郎記念館、ピッコロシアター公演「天空の恋ー谷崎と猫と三人の女ー」と連携し、新たに刊行された全集を始めとした関連資料を展示。公演時には、本のコンシェルジュとして県立芸術文化センターに職員を派遣し、ホワイエ展示を行った。関連講座として、武庫川女子大学たつみ都志教授による講演会を実施。 ※芦屋市谷崎潤一郎記念館、兵庫県立尼崎青少年劇場（ピッコロシアター）と連携
--------------	------	--------------------	---

② 企画展示

関係機関と連携し、さまざまな地域課題や記念事業、調べ学習等に対応する資料を展示する。

テーマ	展示場所	期 日	内 容
貝原俊民前兵庫県知事の軌跡	大閲覧室	27. 3. 20～ 5. 20	貝原俊民前知事の兵庫県政における業績を紹介したパネルや関連資料でその軌跡をたどる展示 ※県秘書課と連携
大坂夏の陣400年・後藤又兵衛展	大閲覧室 1 Fロビー	27. 5. 22～ 8. 19	兵庫ゆかりの武将「後藤又兵衛」の没後400年と大坂夏の陣400年を機に、ふるさとひょうご意識を高め、歴史や方言、地名等の地域の文化資源等を広く県民に情報発信するため、大型方言講談絵本「ホナマタベーものがたり」を制作し、後藤又兵衛レプリカ兜等を展示 ※加西市観光まちづくり協会、加西市立図書館、嘉麻市教育委員会、播州・黒田武士の館と連携
戦後70年日本の軌跡	大閲覧室	27. 8. 21～ 10. 14	本年は終戦から70年の節目を迎えることにちなみ、日本の軌跡を全国と兵庫県からの視点で関連図書、年表等でたどる展示
わたせせいそう四季のカレンダーと植物本展	ふるさとひょうご情報室	27. 7. 17～ 9. 16	神戸ゆかりの美術館での展覧会が秋に開催されるのを機に、わたせせいそうの世界展として、寄贈本や関連本、わたせせいそう氏のイラストカレンダー等を展示
健康を考える	大閲覧室	27. 12. 18～ 28. 2. 17	認知症の予防や支援について、また健康に生活していくためにできることに関する本を展示し、あわせて、加東健康福祉事務所の柿木達也所長をお迎えし、認知症について理解を深められる講座を開催 ※加東健康福祉事務所、兵庫県健康福祉部高齢社会局高齢対策課、兵庫県健康福祉部健康局健康増進課、兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター、兵庫県社会福祉協議会、兵庫県内健康福祉事務所、公益社団法人認知症の人と家族の会、公益財団法人兵庫県健康財団と連携
本から学ぶ防災	大閲覧室	28. 1. 15～ 6. 5	2016年は阪神・淡路大震災から21年目、東日本大震災から5年目にあたることにちなみ、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害発生が危惧される今日、過去の災害をふり振り返り、防災への意識を高めるため、両震災の基礎資料に加え、報道、文学、地学、歴史など様々な切り口から、所蔵資料を紹介。また、NPO法人まち・コミュニケーション田中保三理事を迎え、防災講演会を実施
真田丸～真田幸村の生きた時代展～	大閲覧室	28. 2. 19～ 6. 5	平成28年NHK大河ドラマに戦国時代屈指の知将「真田幸村」が取り上げられるのを機に、幸村の足跡とその時代を当館所蔵の図書資料を中心に紹介し、幸村と並び称される兵庫ゆかりの武将「後藤又兵衛」に関する図書資料等を合わせて展示。展示関連講座として県立芸術文化センターで「女紋～池田蘭子と立川文庫の時代」に当館職員が出演
坂本七海男鉛筆画	ふるさとひょうご情報室	28. 2. 24～ 6. 5	ひょうごゆかりの鉛筆画家で加古川在住の坂本七海男さんから鉛筆画の寄贈を受けたのを機に、鉛筆画に描かれている蒸気機関車や映画スター等の関連本、絵画に関する本を展示

③ 図書展示

テーマ	展示場所	期 日	内 容
外国の絵本 日本語訳の絵本	大閲覧室	27. 4. 17～ 5. 20	絵本の魅力を再発見するため、原著と日本語訳の絵本を見比べることができる資料を紹介
世界遺産	大閲覧室	27. 3. 20～ 5. 20	日本初の世界文化遺産である姫路城のグランドオープンにあわせて、世界に認められた日本の宝（文化遺産14件、自然遺産4件、無形文化遺産22件、記憶遺産3件）について取り上げ、当館資料でその魅力を紹介
レッドデータ・ブック	大閲覧室	27. 5. 22～ 7. 15	絶滅の危機に瀕している野生動物保護活動のあり方等に関する資料を紹介 ※（株）海洋堂と連携
風土記1300年	大閲覧室 1 Fロビー	27. 7. 17～ 9. 16	播磨国風土記編纂1300年を機に、当館所蔵の播磨国風土記とその他の風土記に関する資料等を紹介。大型方言講談絵本「カンベッコナイの時空風土記」や県立明石西高等学校図書委員が作成したパネル等を併せて展示 県立明石西高等学校との連携展示
県立美術館・横尾忠則現代美術館連携展示	大閲覧室	27. 7. 17～ 28. 3. 31	県立美術館・横尾忠則現代美術館の展覧会と連動して、舟越桂やクレー等の関連本、「横尾忠則Y字の世界」関連本等を展示
三木清没後70年	大閲覧室	27. 9. 18～ 11. 18	ひょうごゆかりの哲学者、三木清の没後70年にあたり当館所蔵資料で三木清の功績等を紹介
ふるさと起業で地元を元気にしよう!!	大閲覧室	27. 11. 20～ 28. 6. 5	平成27年10月に「兵庫県地域創生戦略」が策定され、「地域の元気づくり」を目標に多くの取り組みが始まった中で、日本政策金融公庫明石支店やひょうご産業活性化センターと連携して、ふるさと起業や地域の元気づくりにつながる図書資料・パンフレットなどを紹介
祝姫路城平成の大修理完了	ふるさとひょうご情報室	27. 3. 20～ 6. 7	姫路城の平成の大修理が完了し、3月27日にグランドオープンしたことにちなみ、姫路城に関する資料を紹介
淡路花博2015花みどりフェア	ふるさとひょうご情報室	27. 3. 20～ 5. 31	平成27年3月21日～5月31日に「淡路花博2015花みどりフェア」が開催されたことにちなみ、2010年の淡路花博や、淡路島に関する資料を紹介
兵庫のゆかりの方々を偲んで	ふるさとひょうご情報室	27. 6. 2～ 6. 17	ひょうごゆかりの3故人（車谷長吉氏、中西勝氏、今井雅之氏）に関する資料を紹介
兵庫の水害・土砂災害をふり返る	ふるさとひょうご情報室	27. 6. 19～ 7. 30	兵庫県では増水期を迎える6月を「土砂災害防止月間」と定めている。集中豪雨や台風が発生しやすいシーズンを前に、県内で起こった土砂災害等に関する資料を紹介
もっ一つの甲子園ー全国高等学校軟式野球選手権大会ー	ふるさとひょうご情報室	27. 8. 1～ 8. 30	第60回全国高等学校軟式野球選手権大会が開催されるにあたり、軟式野球や高校野球に関する資料を紹介
コウノトリ野生復帰10年 ふたたびはばたけコウノトリ	ふるさとひょうご情報室	27. 9. 18～ 10. 14	県鳥指定50年・初放鳥10年にあたりコウノトリに関する民話・伝承等に関する資料を紹介 ※NPO法人コウノトリ湿地ネットと連携展示
大型絵本（カンベッコナイシリーズ）大集合	ふるさとひょうご情報室	27. 9. 18～ 10. 14	播磨の歴史に関する大型方言講談絵本3冊と、それらに関連する黒田官兵衛等に関する資料を紹介
柳田国男生誕140年	ふるさとひょうご情報室	27. 10. 16～ 12. 16	ひょうごゆかりの民俗学者柳田国男が明治8年7月31日に生まれてから140年になるのを機に、柳田国男を所蔵資料で紹介
ひょうご妖怪談義：小泉八雲、柳田國男、そして水木しげる	ふるさとひょうご情報室	27. 12. 1～ 28. 4. 22	平成27年11月30日に兵庫県にゆかりの深い水木しげる氏が死去したことから、同氏の著作を、同氏に大きな影響を与えた小泉八雲・柳田國男両氏などの著作とともに展示

野坂昭如さんを作品で振り返る	大閲覧室	27. 12. 10～ 28. 3. 26	少年時代を神戸で過ごした体験から生まれた『火垂るの墓』など兵庫県にもゆかりのある作家・タレントの野坂昭如氏を偲び、作品等で振り返る。
阿久悠作品と軌跡	ふるさとひょうご情報室	28. 1. 15～ 6. 5	ひょうごゆかりの作家の阿久悠関連本やCDの寄贈を受けたことを機に、関連本とともに展示し、その軌跡をたどる。
祝!!センバツ出場 長田高校×明石商業高校	ふるさとひょうご情報室	28. 2. 19～ 4. 22	第88回選抜高校野球大会で兵庫県から選出された県立長田高校と市立明石商業高校が出場するのを機に関連本を展示
万国博覧会	ふるさとひょうご情報室	28. 3. 26～ 6. 5	兵庫陶芸美術館での展覧会「明治有田 超絶の美 ー万国博覧会の時代ー」に関連して、万国博覧会に関する当館所蔵資料を紹介

④ ふるさとひょうご便（ロビーギャラリー等）

郷土の偉人の原画展（ホナマタベーものがたり原画展等）等、ふるさとひょうごへの思いを表すものを紹介する。

テーマ	展示場所	期 日	内 容
昔の神戸港と元町 界隈写真展	1Fロビー	27. 4. 12～ 5. 20	「ふるさとひょうご何でも図書館展」にあわせ、陳舜臣さんのエッセーなど作品に登場する故平岡徳太郎氏撮影の写真や人と自然の博物館所蔵の絵はがき等を展示
社会教育施設ポスター展示		27. 5. 1～ 5. 20	県立美術館や県立考古博物館等の社会教育施設が制作した展覧会開催案内等のポスターを展示
ホナマタベーものがたり原画展		27. 5. 22～ 8. 19 28. 2. 19～ 6. 5	「大坂夏の陣400年・後藤又兵衛」展用に制作した大型方言講談絵本「ホナマタベーものがたり」の原画を企画展と連動して展示
いきもの宇宙探偵マップ		27. 7. 21～ 12. 23	自由研究大応援！の講座で作成した、葉っぱと虫のマップを展示
紙ねんど宇宙人フィギュア展		27. 8. 11～ 11. 18	講座「宇宙人フィギュアを粘土でつくろう」で参加者が制作した作品を展示
宇宙探偵ホシノ・カケラン原画展		27. 8. 21～ 10. 21	「宇宙本モノ大作戦！展」用に制作した大型宇宙絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン～タコアナ号宇宙の旅～」の原画を企画展と連動して展示
いろいろな線と色で遊ぼう作品展		27. 10. 21～ 12. 23	講座「いろいろな線と色で遊ぼう」で参加者が制作した作品を展示
まる・さんかく・しかく作品展		27. 12. 23～ 28. 2. 17	講座「まる・さんかく・しかく」で参加者が制作した作品を展示
おはなしを聞いて絵をかこう作品展	大閲覧室	27. 12. 18～ 28. 1. 20	講座「おはなしを聞いて絵をかこう」で参加者が制作した絵を展示

⑤ ふるさとひょうご巡回展示文庫（館外巡回イベント）

ミュージアムなどさまざまな機関との連携を強化する多様なテーマで本の空間を作る本のピクニック、本とアートでコラボするアートショカン!!、ふるさとひょうご特別展示や自由研究大応援!などを巡回する巡回展示文庫、ミュージアムとライブラリーが連携するミュージアム事業等、館外で本、モノ、講座（ワークショップ等）をセットで行う兵庫県立図書館ビブリオ堂としてアウトリーチ事業を展開する。

テーマ	参加人数	期 日	内 容
カンベッチョナイの時空風土記	—	27. 5. 1～ 5.12	大型方言講談絵本「カンベッチョナイの時空風土記」と原画の展示（アスピアスマイルギャラリー） 展示観覧者：1,500人
後藤又兵衛フォーラム	400人	27. 5. 6	大型方言講談絵本「ホナマナベーものがたり」による講談（加西市健康福祉会館） 活動者：川東、定本、谷口、藤本（ひょうご図書館研究員）
兵庫県立図書館ビブリオ堂in 時のウィーク	400人	27. 6.14	明石公園での本のピクニック（1980年代本の展示・立版古〈立体絵本〉づくり・折り紙コーナー）（明石公園） 活動者：谷、塩田
「播磨国風土記」について（文化祭の支援）	60人	27. 6.18	図書部生徒による播磨国風土記についてのテーマ展示を支援するため大型方言講談絵本「カンベッチョナイの時空風土記」による講談を行う。 活動者：川東、吉田、定本、前川 ※(1)-④ 学校サポート講座から再掲
ISTS宇宙博三味線講談	400人	27. 7. 4～ 7. 5	第30回 I S T S兵庫・神戸大会地元事業実行委員会主催「HYOGO-KOBE宇宙博」で大型宇宙絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン〜タコアナ号宇宙の旅〜」による三味線講談（4日・5日で5回講演）（神戸国際展示場） 活動者：川東、定本、塩田、藤本（ひょうご図書館研究員）、藪内（ひょうご図書館研究員）
ISTS宇宙博ブース出展（本のピクニック×ワークショップ）	1,500人	27. 7. 4～ 7. 8	第30回 I S T S兵庫・神戸大会地元事業実行委員会主催「HYOGO-KOBE宇宙博」で宇宙関連本の本のピクニックとワークショップブース出展（立版古ぬりえ・和綴じ絵本・宇宙関連折り紙等）（神戸国際展示場） 活動者：川東、谷、定本、福永、西、中井、塩田、吉井、田中
「宇宙の絵本を作ろう」ワークショップ	33人	27. 7.22	明石市立天文科学館で宇宙をテーマにした絵本づくりのための事前学習（明石市立天文科学館） 活動者：井上・上原・藤原（明石市立天文科学館）、東・田中（明石市立文化博物館）、志水（明石市立図書館）、平山（明石市立大蔵中学校）、川東、定本、福永、塩田
「宇宙の絵本を作ろう」ワークショップ	49人	27. 8. 5	明石市立文化博物館で宇宙をテーマにした絵本づくり制作（明石市立文化博物館） 活動者：井上・上原・藤原（明石市立天文科学館）、東・田中（明石市立文化博物館）、志水（明石市立図書館）、小林（明石市立朝霧中学校）、友弘（明石市立清水小学校）、博物館実習生14名、川東、定本、福永、塩田
明石城まつりブース出展ワークショップ・本のピクニック	287人	27.10.10～ 10.11	明石公園と連携して、明石城まつりで大型方言講談絵本をはじめとして図書館の本の紹介と似顔絵、紙すき等のワークショップ（明石公園） 活動者：川東、谷、吉田、定本、福永、中井、塩田、田中
神戸ビエンナーレブース出展ワークショップ	121人	27.10.24	神戸ビエンナーレにおいて、大型方言講談絵本をはじめとして図書館の本の紹介と似顔絵、紙すき等のワークショップ（神戸メリケンパーク） 活動者：川東、定本

神戸マラソンEXPO 広報ブース出展	1,000人	27. 11. 13～ 11. 14	神戸マラソンにおいて、他の県立施設との共同広報ブースで県立図書館の取り組みの紹介と本のピクニック（神戸国際展示場） 活動者：弭間、谷口、中井
木遊びin明石公園2015 ワークショップ・本のピクニック	146人	27. 11. 15	明石高専、明石公園等と連携して、「木遊びin明石公園」で図書館の本の紹介と似顔絵、紙すき等のワークショップ（明石公園） 活動者：川東、谷、定本、吉井
「ナマズウシ先生の防災学習」 in三田市立図書館	—	27. 11. 22～ 12. 19	三田市立図書館で「ナマズウシ先生の防災学習」として、当館所蔵の防災関連本やナマズウシ原画の貸出と支援 展示観覧者：28,860人
「明石の元気を創りだす 起業応援セミナー2016」 ブース出展	70人	28. 1. 31	「明石の元気を創りだす 起業応援セミナー2016」で県立図書館の企業支援関連の本の展示 活動者：豊浦、谷口
ひょうご労働図書館「小泉八雲展」本と展示の支援	—	27. 12. 1～ 28. 3. 31	ひょうご労働図書館の「小泉八雲展」に関連本の貸出と展示の支援
本のコンシェルジュ「天空の恋ー谷崎と猫と三人の女ー」	—	28. 2. 19～ 2. 21	ピッコロシアター公演「天空の恋ー谷崎と猫と三人の女ー」公演時に本のコンシェルジュとして県立芸術文化センターに職員を派遣し、ホワイエ展示を行った。

⑥ ミニ展示

特に話題性の高いテーマについて随時関連資料を展示する。各分野毎でも、書架を利用して、棚展示を行う。

テーマ	展示場所	期 間	趣 旨 ・ 内 容
福島事故とエネルギー政策	大閲覧室	27. 3. 20～ 7. 25	東日本大震災から4年目、事故を振り返りエネルギー政策について考えるため、関連資料を紹介
桂米朝追悼		27. 3. 22～ 8. 4	3月19日に亡くなった三代目桂米朝の著書等を展示
徳川家康公薨去400年		27. 5. 2～ 5. 20	徳川家康公薨去（こうきょ）400年に合わせて、家康公にまつわる本の展示
同情するなら借りてくれ		27. 5. 21～ 6. 17	昨年4月～5月に受け入れたものの一度も貸出がなかった本をユーモア交じりに展示することで、利用者の反応を観察し、ニーズ把握の一助とする。
しとしとピッチャン梅雨の時期		27. 6. 19～ 7. 8	「梅雨」が題名に入っている作品を展示する。梅雨の鬱陶しさを作家と共有することで、四季のうつろいの過程の一つである梅雨の時期を心穏やかに過ごす機会を提供する。
兵庫県立図書館ビブリオ堂 in 時のウィーク		27. 6. 19～ 7. 15	時のウィーク2015のメインテーマである『1980年代』の出来事、明石プラモデ甲子園にちなんだ『模型・プラモデル』、『明石公園の生き物』の3つのテーマで展示
世界の人口・日本の人口		27. 7. 9～ 7. 25	7月11日が世界人口デーであることにちなみ、人口問題を取り上げた資料を紹介
海の日記念特集		27. 7. 17～ 8. 19	7月第3月曜が海の日であることにちなみ、海を連想する資料を紹介
ちょっと、涼んでいきませんか？		27. 7. 26～ 8. 13	本格的に夏らしくなった時期にあわせ、夏の風物詩ともいえる怪談・妖怪などの図書を紹介
朝顔を楽しむ		27. 7. 26～ 9. 5	江戸時代から人々に親しまれてきた朝顔に関連する資料を紹介
追悼 鶴見俊輔		27. 7. 26～ 10. 14	7月24日に亡くなった評論家・哲学者の鶴見俊輔を追悼し関連図書を展示
追悼 阿川弘之		27. 8. 5～ 11. 20	8月3日に亡くなった阿川弘之の著書を展示

意外と知らない!?天気予報	大閲覧室	27. 8. 14～ 9. 2	連日の猛暑や異常気象などで、天気予報は生活に欠かせないものとなっている。天気や気象についての資料を紹介
俳句		27. 9. 3～ 10. 5	芸術の秋に関連して、俳句の入門編となる資料を展示
土ってなんだろう？		27. 9. 6～ 28. 1. 7	本年は国際土壌年であることにちなみ、地味だけドスゴイ“土”についての資料を紹介
“どんぐり”特集		27. 9. 18～ 10. 14	明石公園では、いろんなドングリをみることができる。実習の一環として図書館実習生が関連する図書を紹介
手話はもう1つの日本語です		27. 10. 6～ 11. 5	利用者アンケートからの要望。手話を言語としてとらえているので、「障害」の分類ではなく「言語」の分類で配架してほしいと。全国の基準に従っているためそれは無理だが、無理でも出来る限りご要望にはお答えする姿勢を示すため、即時ミニ展示枠で実現する。
昭和のひとこま		27. 10. 16～ 28. 1. 20	企画展示「戦後70年日本の軌跡」の中から“昭和”のひとこまを切り取り紹介
追悼 古田武彦		27. 10. 16～ 28. 1. 6	10月14日に亡くなった古代史研究家・古田武彦氏を追悼し関連図書を展示
書庫の中の戦国時代		27. 11. 6～ 12. 10	OPACを活用すれば書庫の本も自在にみられることを周知することを目的とする。そのために人気のある戦国時代をテーマにし、書庫の資料のみで展示を行いOPAC活用のメリットを同時に看板表示する。
追悼 一海知義		27. 11. 21～ 28. 1. 5	11月15日に亡くなった中国古典文学の第一人者であり神戸在住の一海知義氏を追悼し関連図書を展示
追悼 原節子		27. 11. 26～ 28. 1. 5	日本映画を代表する伝説的な女優・原節子氏が亡くなったことが分かり、追悼し関連図書を展示
サイバー犯罪から身を守る		27. 12. 10～ 28. 1. 10	インターネットを利用した犯罪が問題になる中、その実態や対策についての資料を紹介
平成28(2016)年は丙申(ひのえさる)		27. 12. 18～ 28. 1. 20	平成28(2016)年の干支は丙申年に当たることにより、猿や干支に関する資料を展示
電力事業について		28. 1. 8～ 2. 23	2016年4月より電力の小売全面自由化がスタートします。電力事業について考えることのできる資料を展示
暮らしに役立つ料理の本		28. 1. 10～ 2. 11	常連の方からの要望に応じて企画。暮らしに役立つ料理の本を紹介
享保の改革 —300年前の構造改革—		28. 1. 22～ 6. 5	享保元年(丙申 1716年)、徳川吉宗が江戸幕府八代将軍となり、吉宗のもと、幕政改革「享保の改革」が行われた。江戸幕府の改革政治に関する資料を紹介
日本刀		28. 1. 23～ 3. 17	古来より武器として用いられると共に、美術品としても愛されている日本刀。沼のように奥の深い世界を紹介
日産 童話と絵本のグランプリ		28. 2. 10～ 2. 24	「日産童話と絵本のグランプリ」の大賞受賞作品を日産自動車(株)から寄贈されたことを受け、作品を展示して紹介
史上初「重力波」観測成功!	28. 2. 12～ 3. 1	アインシュタインが予言し「最後の宿題」とよばれていた「重力波」の観測にアメリカの研究機関が成功したことを受け、重力波やアインシュタインについての資料を展示	

いよいよ 花粉、黄砂、PM2.5・・・の季節です	大閲覧室	28. 2.24～ 6. 5	春になると花粉、黄砂、PM2.5・・・など飛び交い、人によっては大変な季節です。関連資料を展示
3.3～3月3日・3のあれこれ～		28. 3. 2～ 3.16	3月3日はひな祭りのほか、耳の日、ラジオの日など色々な記念日になっている。また、三大〇〇など、「3」という数字にちなんだ言葉も多いことから、記念日ほか、「3」に関する資料を展示
司馬遼太郎没後20年記念		28. 3.18～ 6. 5	司馬遼太郎の没後20年にあたることを受け、同氏の著作や同氏に関する図書を展示
万国博覧会		28. 3.18～ 3.26	兵庫県陶芸美術館で開催中の展覧会「明治有田超絶の美－万国博覧会の時代－」にあわせ、明治期の万国博覧会や有田焼に関する資料を展示
追悼 上田正昭		28. 3.18～ 6. 5	城崎で生まれ古代史学者となり京都大学名誉教授の上田正昭氏を追悼して著作を展示
KOBELCO森の童話大賞金賞受賞作		28. 3.24～ 4. 7	「KOBELCO森の童話大賞」の金賞受賞作品を(株)神戸製鋼所より寄贈を受けたため展示して紹介
新幹線で北海道へ		28. 3.26～ 4. 7	3月26日に北海道新幹線が開通するのに合わせ、新幹線の車両や歴史、北海道の地理等に関する資料を紹介

⑦-1 特別展示関連講座

テーマ	参加人数	期 日	内 容
Mr. コダテの「葉っぱの宇宙」探偵団	100人	27. 7. 21	明石公園内を散策し、公園内の樹木について学習 葉っぱマップを作成 講師：県立図書館ビブリア堂 人と自然の博物館研究員 小館誓治 ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
カメムシ博士の「虫むし宇宙」探偵団	103人	27. 8. 4	明石公園内を散策し、公園内で昆虫を探していきものマップを作成 講師：県立図書館ビブリア堂 伊丹市昆虫館学芸研究員 長島聖大 ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
ちんげんさいの「紙ねんど宇宙人」探偵団	76人	27. 8. 11	大型方言講談絵本のお話を聞いて、自分だけの紙ねんど宇宙人を作成 講師：県立図書館ビブリア堂 ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
	73人	27. 8. 28	
いろいろな線と色で遊ぼう	73人	27. 10. 18	親子で抽象画を描くワークショップ 講師：臨床美術士（フェリシモ） ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
大木雅之助とちんげんさいのグリム童話な時間～お話を聞いて絵をかこう～	77人	27. 12. 5	大木雅之助さんのお話とグリム童話の絵本の朗読を聞いて参加者がイメージした絵を描くワークショップ 講師：尼子事務所 大木雅之助 県立図書館ビブリア堂 ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
まる・さんかく・しかく	51人	27. 12. 23	祖父母と孫が抽象画を描くワークショップ 講師：臨床美術士（フェリシモ） ※(6)-① 自由研究大応援から再掲
天空の恋～谷崎と猫と三人の女	46人	28. 2. 6	谷崎潤一郎生誕130年を記念し、谷崎のエネルギーと3人の女、そして猫をからませながら、作品世界を読み解く 講師：武庫川女子大学教授 たつみ都志

⑦-2 企画展示関連講座

テーマ	参加人数	期 日	内 容
ホナマタベーものがたり	57人	27. 6. 28	三味線講談 ブックトーク 和綴じ絵本 講師：県立図書館ビブリア堂
地域で支える認知症	42人	28. 1. 16	講演「地域で支える認知症」 講師：加東健康福祉事務所長 柿木達也
震災が私にあたえたもの	42人	28. 1. 30	講演「震災が私にあたえたもの」 講師：NPO法人まち・コミュニケーション理事 田中保三
女紋～池田蘭子と立川文庫の時代	175人	28. 3. 19	講演「女紋～池田蘭子と立川文庫の時代」 講師：川東丈純、藤本明子

(10) 教員研修の実施

① 高等学校初任者研修

図書館利用教育の研修を高等学校初任者研修の選択研修として実施した。

項目	参加人数	期 日	内 容
高等学校初任者研修	42人	27. 7. 2～ 7. 3	「インターネットによる効果的な資料検索方法」 「図書館を利用した授業づくり」等

② 明石市内学校初任者社会体験

図書館利用教育の研修を明石市内学校初任者社会体験の校外研修として実施した。

項目	参加人数	期 日	内 容
明石市内学校初任者社会体験	4人	27. 7. 21～7. 22 27. 8. 4～8. 5 27. 8. 25～8. 26	図書装備、書架の整理、企画展示関連講座の補助等

(11) ボランティアの活用の推進

従来の運営ボランティアのほか、平成24年度より、司書課程専攻の学生ボランティアやビデオミニシアターの運営ボランティアが定期的に活動し、ボランティアを随時受入れている。また、26年度よりアウトリーチ活動を強化するため講座等の講師を担当するボランティアのひょうご図書館研究員制度を設置するとともに、企画展示関連講座等への学生イベントボランティアの参画を図った。今後も大学との連携、積極的な働きかけを行い大学生ボランティア活動の一層の充実を図る。

① 運営ボランティア

活 動 内 容	活動人数	回 数
書架の整理	18人	週1回
協力貸出・託送業務補助	2人	週1回
資料整理の補助	1人	週1回
ビデオミニシアター企画・運営補助	1人	月2回
企画展示関連講座	1人	随時
デジタルビデオ編集基礎講座講師	—	随時

② 大学生ボランティア

活 動 内 容	活動人数	回 数
書架の整理、企画展示関連講座等の補助	2人	週1回
企画展示関連講座等の補助	2人	随時

③ ひょうご図書館研究員

活 動 内 容	活動人数	回 数
出前講座講師	1人	1回
館外巡回イベント	3人	14回

3 市町立図書館等への支援・協力業務の推進（相互協力センター機能）

（1）図書館相互協力による資料相互貸借の推進（協力貸出）

市町立図書館への協力貸出や学校サポートプロジェクトによる「セット貸出」の利用促進を図り、よりきめ細かい全県サービスを展開する。

〈市町立図書館への協力貸出〉

※H27年度末実績

図書館数 (公民館図書室含む)	貸出冊数
102館	13,119冊

〈学校サポートプロジェクト〉

探究学習・本のしくみを学ぶ講座等により学校との連携を推進し、県下の図書館と学校をコーディネートし、図書委員への出前講座や、「播磨国風土記」に関するセット貸出・講座等による文化授業支援（県立明石西高校）等をモデル事業として実施する。

また、学校サポート事業の実践例を講座や学校図書館協議会研究集会等においてPRを行ったほか、学校側の成果物等の展示を行い、図書館を活用した授業の浸透と拡大を図っている。

※H27年度末実績

学校数	貸出冊数
30校	5,190冊

（2）市町立図書館等職員およびボランティアへの研修実施

公共図書館・公民館図書室等の職員を対象に、資質の向上を図る研修を実施する。

① 図書館等職員研修講座

高度情報化など社会環境の変化に対応できる図書館員としての専門性の向上を図る。

テーマ	参加人数	期 日	内 容
館長研修	51人	27. 6. 5	「これからの図書館員・司書のあり方を考える」 講師：井上真琴氏（同志社大学学習支援・教育開発センター事務長）
新任研修	40人	27. 4. 23	「図書館サービスの基本について」「蔵書検索入門」 講師：県立図書館 尾崎肇 豊浦泰嗣
	39人	27. 5. 7	「資料の取扱い方について」「著作権法入門」 講師：県立図書館 井上由加里 谷口充利
レファレンス研修	42人	27. 6. 18 (初級)	「レファレンスの基本」「レファレンスインタビューについて」「国立国会図書館のWEBサービスを使いこなす」 講師：岡本常将氏（国立国会図書館関西館文献提供課参考係長）、県立図書館 弭間百合子 荒川信子
	19人	27. 10. 29 (中級)	「人文分野のレファレンスツールを使いこなす」「兵庫ゆかりの情報の調べ方」「ワークショップ」 講師：県立図書館 荒川 前川 井上 植田 豊浦

② 県立図書館ボランティア研修講座

県立図書館で活動するボランティアを対象に、図書館の役割やサービスの基本などの理解を目的として4月に実施した。

期日：27. 4. 18 参加者：9人 期日：27. 4. 24 参加者：7人

③ 「出前講座」による研修講座（2-(5)-③から再掲）

県内市町図書館職員やボランティアに対して、要請に応じたテーマで当館職員等が研修を行う。

テーマ	参加人数	期 日	会 場
県立図書館入門	22人	27. 5. 10	県立図書館
本の修理	16人	27. 8. 18	新温泉町立加藤文太郎記念図書館
読書会	10人	27. 8. 22	篠山市立中央図書館
本の修理	22人	27. 9. 30	洲本市立洲本図書館
著作権ってどんなこと！	15人	27. 10. 23	赤穂市立図書館
郷土について調べる	31人	27. 11. 4	芦屋市立図書館
読書の楽しみを伝えましよう！-ビブリオバトルを体験してみよう-	11人	27. 11. 13	赤穂市立図書館
本の仕組みを知り、和綴じ絵本を作る事前学習	1人	27. 12. 3	県立図書館
本の仕組みを知り、和綴じ絵本を作る	12人	27. 12. 13	上郡町生涯学習支援センター

(3) 県内図書館への指導・助言

県内市町立図書館の実情を把握し、指導・助言を行うとともに相互協力担当者の連携を図り、円滑な協力体制を推進する。

① 地区別図書館協議会会議への出席

県内各地区に設けられている協議会からの要請により職員を派遣した。

② 相互協力担当者連絡会の開催

県内図書館間の相互協力を円滑に進めるための情報提供や意見交換を行った。

期日：27. 5. 22 参加者：60人

(4) 兵庫県図書館協会として研修会等の実施

① 研究集会

図書館を取り巻く最近の情勢の中から、加盟館の要望によりテーマを決めて実施する。

テーマ	参加人数	期 日	担 当	会 場
居心地の良い図書館を目指して－誰でも一人になれる場所－	20人	27. 12. 10	阪神地区公共図書館協議会	猪名川町立図書館

② 地区別研修会

図書館員が日々直面する実務的なテーマについて、各館の要望を基に企画し、地区別に開催する。

・県内5地区（神戸・阪神、東播磨・北播磨、中播磨・西播磨、但馬・丹波、淡路）で開催した。

テーマ	参加人数	期 日	地 区	会 場
著作権法	15人	27. 7. 15	淡路	洲本市立洲本図書館
ビブリオトーク（図書紹介）の進め方	11人	27. 9. 4	但馬・丹波	朝来市和田山公民館
魅力的な手書きPOPの描き方	24人	27. 9. 9	中播磨・西播磨	姫路市立城内図書館
本の修理（応用編）	41人	27. 10. 1	神戸・阪神	垂水勤労市民センター
図書館の危機管理	21人	27. 10. 8	東播磨・北播磨	県立図書館

③ 情報交換会

地区別研修会と同日開催し、県内図書館が抱える様々な問題点等の現状を話し合い、解決策を検討した。